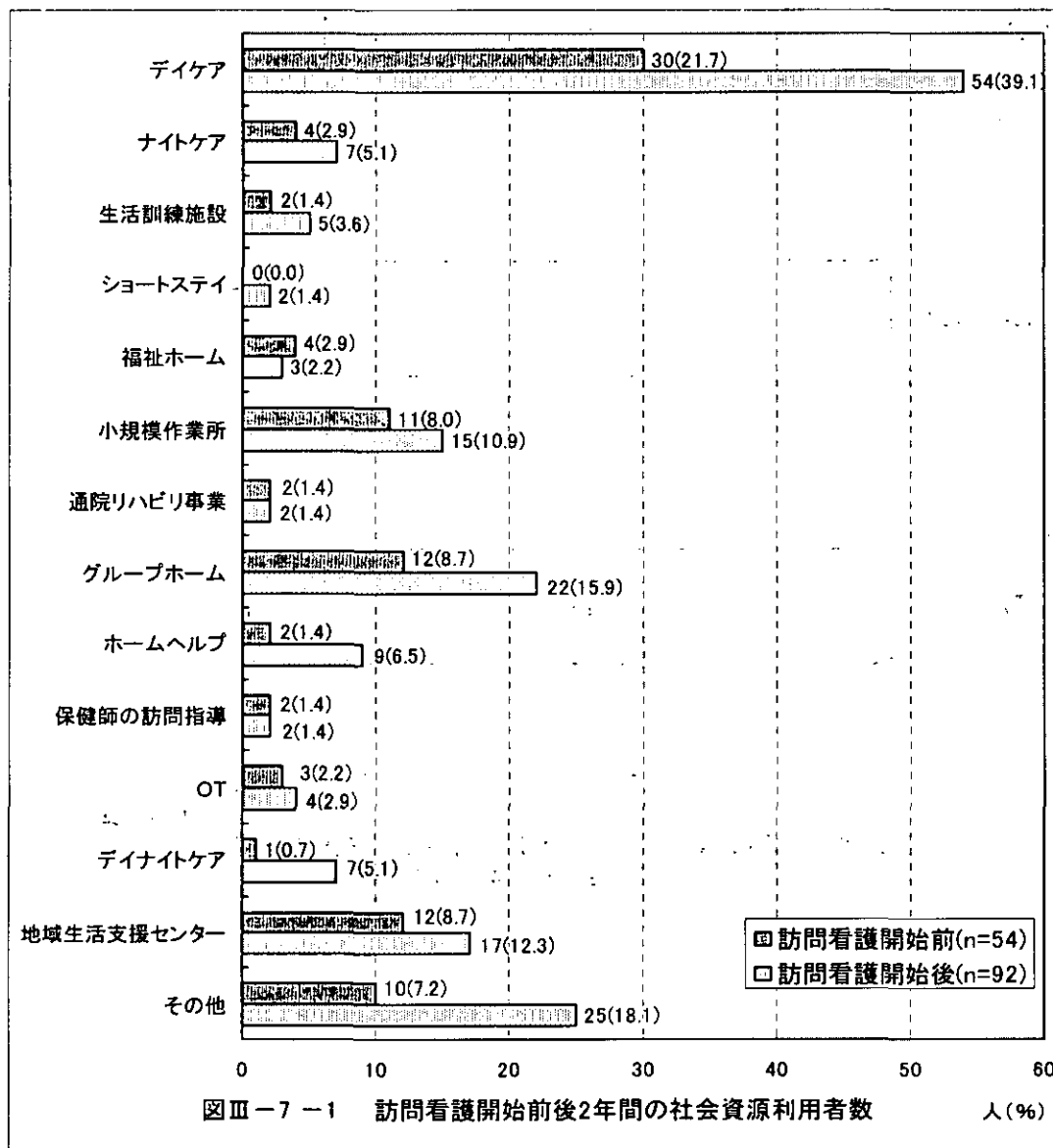


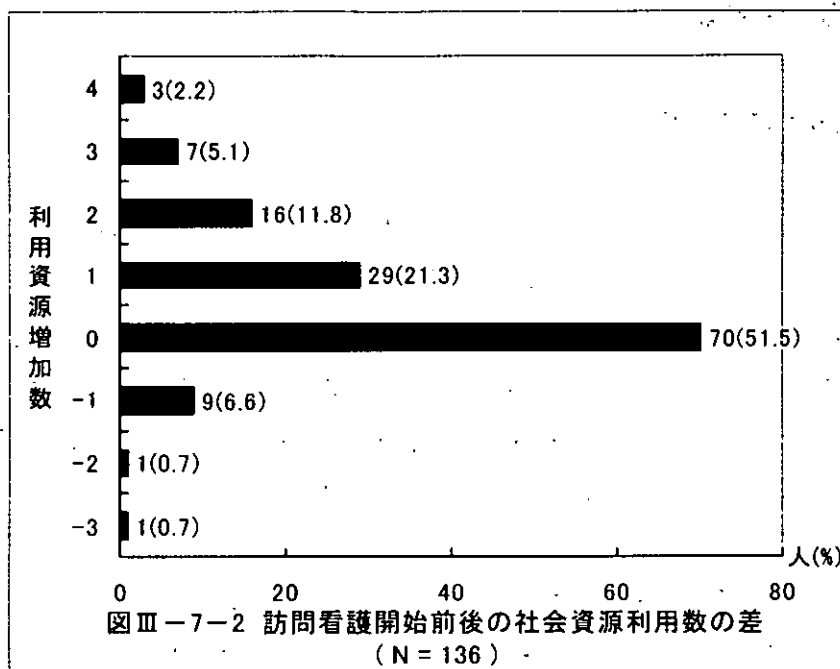
7. 訪問看護以外の社会資源利用状況

1) 訪問看護開始前後の他の社会資源利用状況

訪問看護利用者の、デイケアや作業所等の社会資源利用状況は以下のとおりである。136名の対象者のうち、訪問看護開始前2年間、開始後2年間に各サービスを利用した人数を示す(図Ⅲ-7-1)。デイケアを利用している者が多く、訪問開始前は21.7%、訪問開始後では39.1%の者が利用していた。次いで、グループホーム(開始前8.7%、開始後15.9%)、小規模作業所(開始前8.0%、開始後10.9%)の利用者が多くなっている。

利用している社会資源の数は、図Ⅲ-7-2で示したとおり、訪問開始後も51.0%の者で不変、40.4%の者で増加していた。





2) 社会資源利用状況と入院日数の関係

訪問看護のみ利用している者と、訪問看護とそれ以外の社会資源を併用している者との精神科入院期間を比較した。訪問看護開始前2年間では、社会資源を利用している者 (n=54) の平均入院日数は185.7日であり、社会資源を利用していない者 (n=82) では337.7日であった。退院と同時に社会資源の利用を開始する者が多い (n=77) ことから、利用なし群の入院日数が長くなっているともいえる。一方、訪問開始後2年間では、社会資源を利用している者 (n=92) の平均入院日数は67.3日であり、社会資源を利用していない者 (n=44) では86.4日であった。訪問開始後2年間では、両群の入院期間に統計的に有意な差はなかった (p=0.47)。すなわち、訪問看護のみを利用している者と、訪問看護と他の社会資源を利用している者とは、入院期間に差は見られなかった。

表Ⅲ-7-1

訪問看護開始前後2年間の他の社会資源利用の有無別総入院日数の平均(日)

	訪問開始前			訪問開始後		
	N	mean	SD	N	mean	SD
利用あり	54	185.7	216.7	92	67.3	129.4
利用なし	82	337.7	300.9	44	86.4	169.7

**p<0.01, t検定

8. 日常生活機能評価に関すること

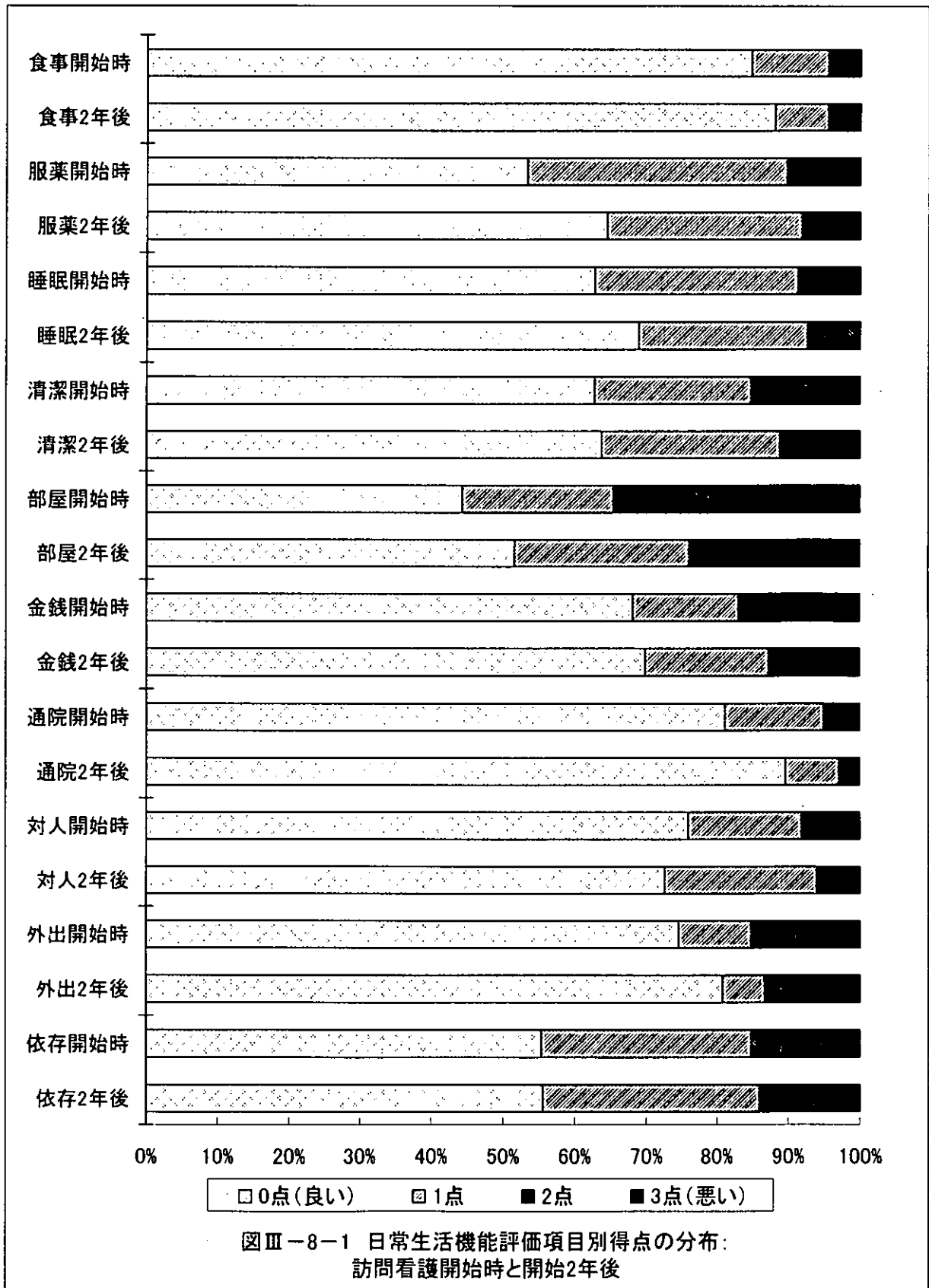
1) 日常生活機能評価調査票について

訪問看護が、対象者である統合失調症患者の精神状態や日常生活にどのような影響を及ぼしているかを調べるために、ある訪問看護提供施設にて訪問時における患者の機能評価に用いている記録の様式などを参考にして、日常生活機能評価調査票を作成した。他の調査項目と同様に、施設スタッフへのインタビューで訪問開始時と開始2年後（訪問看護中断者については最終の訪問中断時）の2時点における対象者の情報を収集して、調査員が評価を行った。調査票は以下の10項目からなり、0点（良い）から3点（悪い）の4件法で記録した。

食事 ・ 服薬 ・ 睡眠 ・ 身だしなみ／清潔 ・ 部屋の状況 ・
金銭管理 ・ 通院 ・ 対人関係 ・ 病院以外の外出／買い物 ・
（訪問看護への）依存度

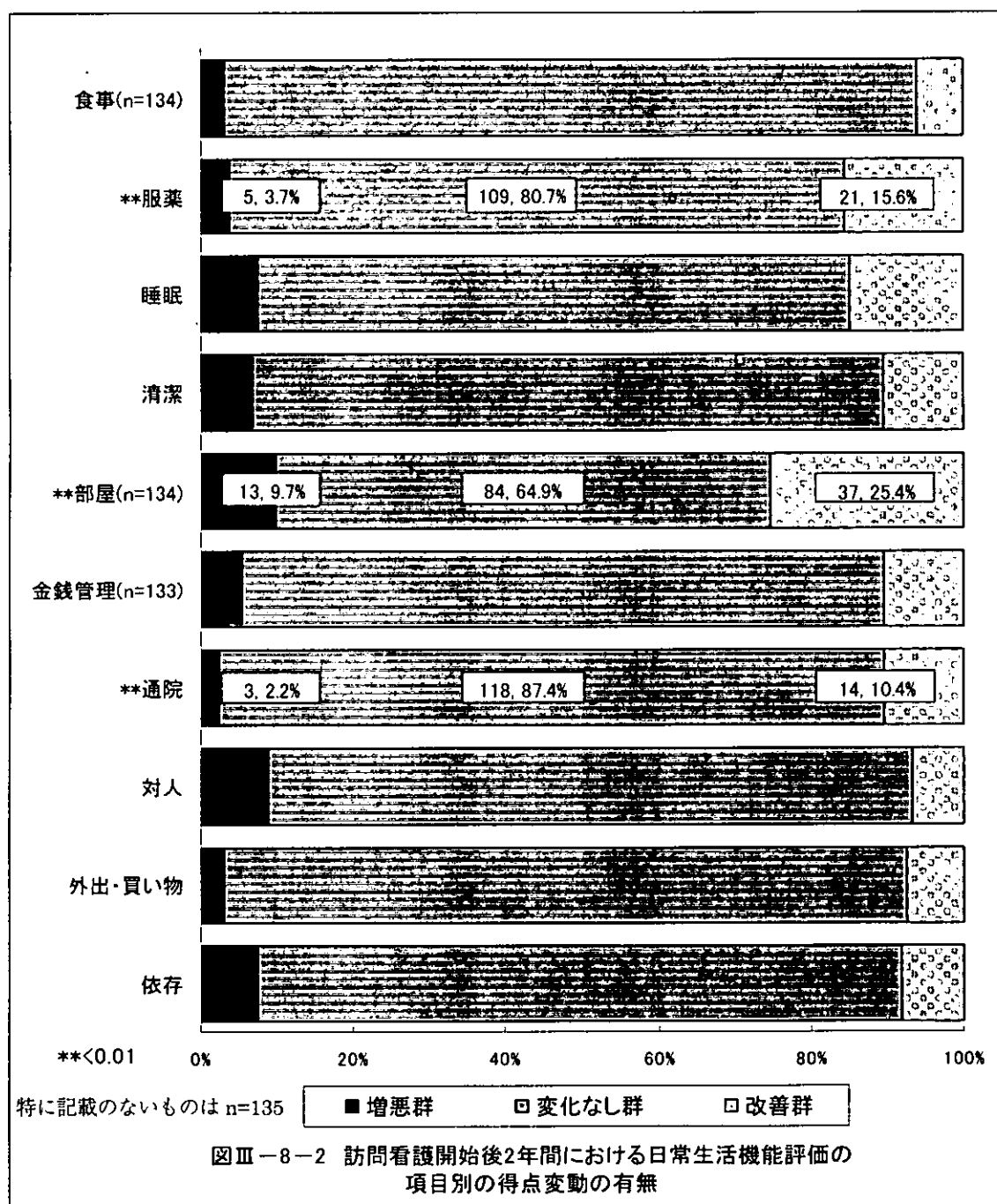
2) 各項目の得点分布

機能評価の各項目の得点の分布を見ると、訪問開始時／2年後共に、全ての項目で「0点（状態が良い）」の者が一番多かった（図Ⅲ-8-1）。



3) 各項目の得点の変動状況

各項目の得点が訪問看護を始めて2年間でどう変わったかを調べたところ、「服薬」「部屋の状況」「通院」の3項目では、訪問開始後2年間で改善する者の方が増悪する者より統計的に有意に多いことが示された (Wilcoxon の符号付き順位検定)。特に「服薬」「通院」の2項目に関しては、それぞれについて訪問看護が有効に機能しているという先行研究の結果を支持しており、訪問看護の効果を示すものとも言える。



9. 多変量解析による総括的分析

訪問看護についての分析の最後に、精神科への入院の有無及び入院日数にどういった要素が影響しているかを総括的に判断するため、多変量解析を行った。

まず、訪問看護開始後2年間における精神科への入院の有無を従属変数としてロジスティック回帰分析を行った。独立変数は、対象者の訪問看護開始時の年齢・性別・自己資産の有無・婚姻の有無・訪問看護開始時の状況・合併症の有無・訪問看護開始後3ヶ月間の訪問看護総ケア時間／他の社会資源の利用の有無・訪問開始時の日常生活機能評価総得点・訪問看護開始前2年間の入院の有無の10変数として、強制投入した。その結果を表Ⅲ-9-1に示す。訪問看護開始後の入院の有無に統計的に有意に関連のみられた要因は「日常生活機能評価総得点」「訪問看護開始前の入院の有無」「訪問看護総ケア時間」であり ($p<0.05$)、日常生活機能の低さ・訪問看護開始前に入院があること・訪問看護のケア時間が長いことが、訪問看護を開始した後の入院にそれぞれ関連していた。また「訪問看護開始時の年齢」「他の社会資源の利用」についても、年齢が高いこと・社会資源の利用がないことが、訪問看護を開始した後の入院に関連する傾向があった ($p<0.1$)。

また、訪問看護開始後2年間に精神科への入院があった57名について、精神科への入院日数を従属変数として重回帰分析を行った。独立変数として、ロジスティック回帰分析で訪問看護開始後の入院の有無に統計的に有意に関連、もしくは関連する傾向があった4つの変数と、訪問看護開始前2年間の精神科への入院日数を用いた。その結果を表Ⅲ-9-2に示す。「訪問看護開始前の入院日数」が、訪問開始後の精神科への入院日数に統計的に有意な関連のある要因であった。また、「日常生活機能評価総得点」も入院日数に関連する傾向があった。

今回の調査では、日常生活機能評価についてはスタッフからの聞き取りを前提とした項目を用いて評価しており、評価の妥当性については今後検討が必要である。また、訪問看護前の入院日数が患者の症状レベル、機能レベルを反映しているのか、あるいは長期入院によるホスピタリズムを反映しているのか、それが生活機能とどのような関係があるのかといったことについては今後詳細な検討が必要であると考えられる。

表Ⅲ-9-1 訪問看護開始後2年間の精神科への入院の有無に関連する要因

(N=130)

独立変数	カテゴリースコア	精神科入院の有無	
		オッズ比	95%信頼区間
訪問看護開始時の年齢		0.969†	0.933-1.006
性別	(1=男性, 2=女性)	0.755	0.305-1.867
経済状況	(0=自己資産なし, 1=自己資産あり)	1.325	0.547-3.212
婚姻	(0=なし, 1=あり)	0.314	0.052-1.910
訪問看護開始時の状況	(1=退院時, 2=通院中)	1.963	0.698-5.523
合併症	(0=なし, 1=あり)	0.947	0.393-2.288
訪問看護ケア時間 ¹⁾		1.001*	1.000-1.002
日常生活機能評価総得点 ²⁾		1.267**	1.114-1.442
他の社会資源の利用 ³⁾	(0=なし, 1=あり)	0.433†	0.179-1.049
訪問看護開始前の入院 ⁴⁾	(0=なし, 1=あり)	4.039*	1.182-13.80

†p<0.1, *p<0.05, **p<0.01

1)訪問看護開始後3ヶ月間の訪問看護総ケア時間

2)訪問看護開始時の評価

3)訪問看護開始後3ヶ月間について

4)訪問看護開始前2年間の精神科入院の有無

表Ⅲ-9-2 訪問看護開始後2年間の精神科への入院日数に関連する要因

(N=57)

独立変数	精神科総入院日数
	β
訪問看護開始時の年齢	0.077
訪問看護ケア時間 ¹⁾	-0.144
日常生活機能評価総得点 ²⁾	0.253†
他の社会資源の利用の有無 ³⁾	0.055
訪問看護開始前2年間の精神科入院日数	0.369**
R ²	0.179
調整済みR ²	0.099

†p<0.1, **p<0.01

1)訪問看護開始後3ヶ月間の訪問看護総ケア時間

2)訪問看護開始時の評価

3)訪問看護開始後3ヶ月間について

IV. 健康危険情報 なし

V. 研究発表 なし

VI. 知的財産権の出願・登録状況 (予定も含む) なし

〔付録1〕

平成 15 年度厚生労働科学研究

「精神科看護における介入技術の明確化及び評価に関する研究

－精神科訪問看護と急性期病棟における看護業務－」

同意書と説明文

付録 1-1 同意書

付録 1-2 対象者への説明文

同意書

東京大学大学院医学系研究科長・医学部長 殿

私はこのたび、別紙の内容について文章による説明を受け、以下のことに同意しました。

- 調査者が、訪問看護師からあなたに関する話をきくこと。
- 自由な意志により研究に協力し、同意しない場合や途中で辞退した場合、その後の治療やケアで不利になることはないこと。
- あなたに関する情報について秘密が守られ、個人の特定ができないこと。
- 聞き取り調査の内容について、この研究以外に用いられないこと。
- 人権が守られること。

調査の目的にそって、この研究へ協力することに

同意します 同意しません

記

研究の課題：精神科看護における介入技術の明確化及び評価に関する研究

平成15年 月 日

氏名 _____

調査者所属 東京大学大学院医学系研究科

精神看護学分野 助教授

調査者署名 萱間 真美

この研究にあたっては対象者の意志を尊重します。なお、研究の結果が公平なものとなるように、この同意書のご返信が無い方については調査への参加に同意したものとしてそのデータを利用させていただきます。

訪問看護をご利用の皆様へ

☆精神科訪問看護の効果に関する調査へのご協力をお願い☆

私たち東京大学精神看護学分野では、みなさまが少しでも地域で快適にお過ごしになれますよう、訪問看護の充実に取り組んでおります。この度、あなたご利用の_____の協力のもと、今後の精神科訪問看護をより良いものとするために、看護師から訪問看護についてのお話をうかがうことになりました。

つきましては、大変唐突で恐縮ではございますが、あなたの受けられている訪問看護についてのお話を、看護師からうかがうことに関しましてご理解・ご協力を頂けますようお願いいたします。この調査にご協力されるかどうかは、みなさまの自由です。以下の内容をご理解の上、同意されない場合は、お手数ですが、同封いたしました同意書にご記入のうえご返送下さい。

+++++

1、 調査の目的

訪問看護の効果を明らかにし、これからの訪問看護をより良くすることです。

2、 調査の方法

- ・あなたが利用している訪問看護提供施設の看護師に、調査員があなたの受けられている訪問看護についてのお話を聞きます。
- ・調査員があなたやご家族の方に直接お会いしてお話をうかがうことはありません。
- ・調査員は、看護や福祉の領域で訪問看護を専門としているものとその補助者です。
- ・調査員以外の者が、調査内容からあなたのことを特定できないようにしています。

3、 調査の参加と辞退

この調査にご協力いただけるかどうかは自由です。また、調査へのご協力に同意いただいた後でも、いつでもご辞退頂けます。同意されない場合も、途中で辞退された場合も、それによって治療やケアが変わることはありませんのでご安心下さい。

なお、ご協力に同意されなかった場合にはあなたに関する情報は一切使用いたしません。

4、 プライバシーと人権の保護

看護師にうかがった話の内容は、この調査以外に使われることはありません。全ての情報について秘密は守られます。調査結果の報告や発表の時にもあなたの名前などの個人を特定できる情報は使われません。

この調査は倫理委員会で審査を受け、調査方法が適切であり、あなたの人権が守られていることが確認され、あなたが利用している訪問看護提供施設の承認を得たものです。

+++++

☆同意書について☆

私たちは、みなさまのご意思をお伺いするために同意書を用意しました。

1枚目の1～4の内容をご理解いただいた上で、調査員があなたについてのお話をうかがいその内容を研究に使うことにつきまして、ご同意いただけるかどうかをお知らせ下さい。

- ① 協力して下さる場合は同意しますに○を、拒否される場合は同意しませんに○をつけてください。
- ② **太枠内**にお名前をお書き下さい。
- ③ 同封の返信用封筒に同意書を入れてポストに入れてください。切手を貼る必要はありません。

特に、同意されない場合には必ずご返信いただきますようお願いいたします。

ご不明な点、ご不安な点がございましたら、以下の連絡先までご遠慮なくお知らせ下さい。

☆お問い合わせ先☆

Tel・Fax: 03-5841-****

研究事務局（水／木 10：00～18：00）

東京大学医学系研究科

健康科学看護学専攻精神看護学分野

住所：〒113-003 文京区本郷 7-3-1

平成15年度厚生労働科学研究

「精神科看護における介入技術の明確化及び評価に関する研究」

主任研究者

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻精神看護学分野

萱間 真美

〔付録 2〕

平成 15 年度厚生労働科学研究

「精神科看護における介入技術の明確化及び評価に関する研究

－精神科訪問看護と急性期病棟における看護業務－

調査票一式

付録 2-1 予備調査票

付録 2-2 ID 対照表

付録 2-3 患者データ票

付録 2-4 日常生活機能評価票

FAX 返送先：03-5841-****

研究事務局（萱間 真美）行き

予 備 調 査 票

施設名： _____

所在都道府県： _____

以下の質問にお答え下さい。②③は選択肢のうち当てはまるものを○で囲んでください。

① 2000年10月1日～2001年9月30日の間に、貴施設において初めて訪問看護の提供を開始した統合失調症の患者は何名いますか

() 人

② ①の患者について、訪問看護の提供を開始する前2，3年間の訪問看護以外の社会資源の利用状況や入院状況は把握していらっしゃいますか。

把握している・ 大体把握している・ あまり把握していない・ 把握していない

③ 入院に関して提携している医療機関はありますか。

特になし

特定の1つの機関

複数の機関

④ 本調査は、調査員が訪問看護提供施設へ出向いての訪問看護師へのインタビュー調査をさせていただきます。時期は _____ を予定しております。ご協力をお願いすることはできますか。また、調査の日程・時間帯やその他のご要望等をお聞かせ下さい。

ご協力ありがとうございました。FAXは _____ 月 _____ 日までにご返信願います。

施設別患者-ID対照表

※平成12年10月1日～平成13年9月30日に訪問看護を始めた統合失調症の方を五十音順で記載して下さい

貴施設スタッフへ同意書が渡された時などはここにチェックしてください。後日確認します。↓

ID番号	患者名	担当スタッフ	住所	同意書	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					

お問い合わせは東京大学大学院精神看護学教室、萱間まで(TEL/FAX:03-5841-****、水・木在室)

患者データ

①基礎情報

昭和なら1925を足し、大正なら1911を足したものが西暦になります。

《 性別 》 ⑥ 1. 男 2. 女

《 生年月日 》 ⑦ 19__年__月__日

《 発症年齢 》 ⑧ ____歳 (推測の場合ここにチェックマーク) ・ 不明

① 施設番号

② 患者ID番号

③ 訪問看護開始年月日 平成__年__月__日

④ 訪問看護開始2年後年月日 平成__年__月__日

⑤ 中断前最終訪問年月日 平成__年__月__日

訪問開始後2年時に中断している者のみ。次ページ以降も同じ。

《 同居者 》

※複数可

⑨ 【訪問看護開始当時】

1. 親 4. その他 ()

2. 同胞 0. 一人暮らし

3. 配偶者 9. 不明

【訪問開始後2年時(またはその直前の中断時)】

⑩

1. 親 4. その他 ()

2. 同胞 0. 一人暮らし

3. 配偶者 9. 不明

《 経済状況 》

※複数可

⑪ 【訪問看護開始当時】

1. 自己資産 4. その他 ()

2. 家族援助 9. 不明

3. 生活保護

【訪問開始後2年時(またはその直前の中断時)】

⑫

1. 自己資産 4. その他 ()

2. 家族援助 9. 不明

3. 生活保護

不動産・株・年金などを含みます。

不動産・株・年金などを含みます。

《 婚姻の有無 》

⑬ 【訪問看護開始当時】

1. あり 0. なし

【訪問開始後2年時(またはその直前の中断時)】

⑭

1. あり 0. なし

《 開始時点

⑮ 【訪問看護開始当時のみ】

1. 退院時 4. その他 ()

2. 通院中 9. 不明

3. 未受診時

※退院前訪問の場合は、1. 退院時 を選びます。

③訪問看護状況(1)

時間・場所・計画など

3ヶ月の間に中断が含まれる場合は、中断期間を除いた計3ヶ月でとります。

施設番号	
患者ID番号	
訪問看護開始年月日	平成 年 月 日
訪問看護開始2年後年月日	平成 年 月 日
中断前最終訪問年月日	平成 年 月 日

《訪問間隔平均》

【訪問看護開始後3ヶ月間】

23

日に1回

平均値で記入します。原則として整数で、頻度が高ければ小数点以下第1位まで。

24

日に1回

平均値で記入します。原則として整数で、頻度が高ければ小数点以下第1位まで。

【開始2年後(または直前の中断時)の前3ヶ月間】

《訪問所要時間(含移動時間)》

【訪問看護開始後3ヶ月間】

25

1回につき 分 (含移動時間)

うち移動時間 分 移動時間不明→□

26

1回につき 分 (含移動時間)

うち移動時間 分 移動時間不明→□

【開始2年後(または直前の中断時)の前3ヶ月間】

《訪問先》※複数可

【訪問看護開始後3ヶ月間】

27

1. 居住空間 2. 通所空間 3. 他 9. 不明

28

1. 居住空間 2. 通所空間 3. 他 9. 不明

【開始2年後(または直前の中断時)の前3ヶ月間】

《看護計画の有無》

【訪問看護開始後2年間】

29

1. 看護計画あり 0. 看護計画なし

【訪問看護開始後2年間】

《看護計画の見直しの有無と頻度》

【訪問看護開始後2年間】

30

1. 看護計画の見直しあり→期間中に 回 0. 看護計画の見直しなし

【開始2年後(または直前の中断時)の前3ヶ月間】

④訪問看護状況(2)

中断歴

※「中断」の定義はマニュアル参照

施設番号	
患者ID番号	
訪問看護開始年月日	平成 年 月 日
訪問看護開始2年後年月日	平成 年 月 日
中断前最終訪問年月日	平成 年 月 日

《訪問開始後2年間の全訪問中断歴》31

0. 中断歴なし → 次ページへ。

1. 中断歴あり → 下の表に全中断の期間と理由を記録します。

《全訪問中断の期間と理由》※中断歴のある者のみ

下欄の中断理由コードから一つ選びます。番号で記入。

[期間]	↓ 中断前最終訪問日 32	↓ 訪問再開日 33	[中断理由] 34
1	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
2	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
3	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
4	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
5	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
6	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
7	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
8	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
9	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
10	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	

[期間]	↓ 中断前最終訪問日 35	↓ 訪問再開日 36	[中断理由] 37
11	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
12	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
13	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
14	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
15	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
16	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
17	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
18	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
19	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	
20	[平成] 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日	

《中断理由コード》

- | | | | |
|----------|------------|-----------------------------|---------|
| 1. 精神科入院 | 5. 病死 | 9. 転居 | 13. 不明 |
| 2. 他科入院 | 6. 事故死 | 10. スタッフとのトラブル | 14. その他 |
| 3. 本人が拒否 | 7. 自殺 | 11. [転居・トラブル]以外での利用施設変更 () | |
| 4. 家族が拒否 | 8. 状態改善/卒業 | 12. 旅行・帰省など | |

⑤他の地域サービス 利用状況(1)

利用の有無

【訪問開始前 2年間】 【訪問開始後 2年間】

1. デイケア	38	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	39	<input type="checkbox"/>
2. ナイトケア	40	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	41	<input type="checkbox"/>
3. 生活訓練施設(援護寮)	42	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	43	<input type="checkbox"/>
4. ショートステイ	44	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	45	<input type="checkbox"/>
5. 福祉ホーム	46	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	47	<input type="checkbox"/>
6. 授産施設(通所/入所)	48	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	49	<input type="checkbox"/>
7. 福祉工場	50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	51	<input type="checkbox"/>
8. 小規模作業所	52	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	53	<input type="checkbox"/>
9. 通院リハビリ事業	54	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	55	<input type="checkbox"/>
10. グループホーム	56	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	57	<input type="checkbox"/>
11. ホームヘルプ	58	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	59	<input type="checkbox"/>
12. 保健師の訪問指導	60	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	61	<input type="checkbox"/>
13. その他	62	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	63	<input type="checkbox"/>
※具体的には→					

施設番号	
患者ID番号	
訪問看護開始年月日	平成 年 月 日
訪問看護開始2年後年月日	平成 年 月 日
中断前最終訪問年月日	平成 年 月 日

記録もしくはスタッフの方へのインタビューから「利用有り」が確認できたサービスについて、チェックを入れます。

※ 次のページに、各サービスの利用期間を記入する欄があります。

※ サービス利用の有無が全て不明の場合(記録がない場合等)

訪問開始前の全てのサービス利用有無について、不明 → 64

訪問開始後の全てのサービス利用有無について、不明 → 65

※ 全て「利用無し」または「不明」の場合は1枚とばして「入院状況」へ。